

パーフルオロオクタン酸(PFOA)に係る水質調査結果について(第4報)

代表連絡先

環境農林水産部 環境管理室環境保全課
化学物質対策グループ
ダイヤルイン番号:06-6944-9247
メールアドレス:kankyokanri-g09@sbox.pref.osaka.lg.jp

提供日	2010年6月4日												
提供時間	14時0分												
内容	大阪府では、ふっ素を含む有機化合物の一種であるパーフルオロオクタン酸(PFOA)※について、神崎川水域の河川等において水質調査を行いましたので、その結果をお知らせします。 本調査は、神崎川水域及びその周辺の井戸において平成19年度より毎年1回実施してきましたが、平成21年8月にPFOAが過去の調査結果に比べて高い濃度で検出されたことから、調査の頻度を年4回に上げ、今回、平成21年8月から数えて4回目の調査を行ったものです。 調査の結果、平成21年8月よりも低く、本年2月の調査結果と同程度の濃度であることが確認されました。 ※PFOAの用途・分解性等については別紙をご覧ください。 1. 調査の概要 (1) 試料採取日 平成22年5月11日(火) (2) 調査地点 安威川及び神崎川の5地点(別図のとおり) (3) 分析機関 大阪府環境農林水産総合研究所 2. 調査結果 <table><tr><th>調査地点</th><th>調査結果 (単位:マイクロg/L)</th></tr><tr><td>1 安威川流域下水道中央水みらいセンター放流水</td><td>0.49</td></tr><tr><td>2 安威川 安威川流域下水道中央水みらいセンター放流前地点</td><td>0.0056</td></tr><tr><td>3 安威川 安威川流域下水道中央水みらいセンター放流後地点</td><td>0.42</td></tr><tr><td>4 安威川 新京阪橋</td><td>0.27</td></tr><tr><td>5 神崎川 新三国橋</td><td>0.091</td></tr></table> ○安威川、神崎川(調査地点2～5)のPFOA濃度は、最大値で昨年8月が7.5マイクロg/L、昨年12月が0.92マイクロg/L、今年2月が0.50マイクロg/L、今回が0.42マイクロg/Lでした。 ○同水域でPFOAを取り扱っているふっ素樹脂製造工場(ダイキン工業株式会社淀川製作所)からの排水は、公共下水道を経由して、安威川流域下水道中央水みらいセンターから放流されており、その放流水(調査地点1)中のPFOA濃度は昨年12月が1.1マイクロg/L、今年2月が0.52マイクロg/L、今回が0.49マイクロg/Lでした。 ○これまでの調査結果及び調査地点の位置は、それぞれ、別表及び別図をご覧ください。 3. 今後の対応 ○ダイキン工業株式会社淀川製作所では、平成24年にはPFOAの取り扱いを全廃するとしており、それまでの間、排水中のPFOA濃度の監視の強化を継続するとしています。府はこれらの取組状況を引き続き把握します。 ○府は、今後とも神崎川水域において河川等の水質調査を行います。	調査地点	調査結果 (単位:マイクロg/L)	1 安威川流域下水道中央水みらいセンター放流水	0.49	2 安威川 安威川流域下水道中央水みらいセンター放流前地点	0.0056	3 安威川 安威川流域下水道中央水みらいセンター放流後地点	0.42	4 安威川 新京阪橋	0.27	5 神崎川 新三国橋	0.091
調査地点	調査結果 (単位:マイクロg/L)												
1 安威川流域下水道中央水みらいセンター放流水	0.49												
2 安威川 安威川流域下水道中央水みらいセンター放流前地点	0.0056												
3 安威川 安威川流域下水道中央水みらいセンター放流後地点	0.42												
4 安威川 新京阪橋	0.27												
5 神崎川 新三国橋	0.091												
添付資料	(別表)PFOA調査結果 (EXCELファイル、39KB) (別表)PFOA調査結果 (PDFファイル、12KB) (別図)PFOA調査地点図 (WORDファイル、384KB) (別図)PFOA調査地点図 (PDFファイル、105KB) (別紙)PFOAについて (WORDファイル、26KB) (別紙)PFOAについて (PDFファイル、12KB)												
資料提供ID	3853												